

平成28年度 広島県道徳教育推進連絡会議(第1回)

資料

配付資料一覧

番号	資料名	頁
資料	1 豊かな心を育むひろしま宣言～育てよう「心の元気！」～	1
	2 広島版「学びの変革」アクション・プラン【概要版】	2
	3 学習指導要領等改正の経緯について	3
	4 改訂の経緯（「学習指導要領解説 特別の教科道徳編より」）	4
	5 「特別の教科 道徳」の内容の学年段階・学校段階一覧	5
	6 平成27年度道徳教育パワーアップフォーラムアンケート結果	6
	7 平成27年度市町道徳教育推進協議会参加者アンケート結果	7
	8 「道徳教育改善・充実」総合対策事業	8
	9 平成28年度「道徳教育改善・充実」総合対策事業推進校・推進地域一覧	10
	10 平成28年度「道徳教育改善・充実」総合対策事業における道徳教育実践研究委員会実施要項（小・中学校部会）	11
	11 平成28年度広島県教育資料「第2章授業改善の推進 道徳の事例」	12
参考資料	1 道徳教育に係る評価等の在り方に関する専門家会議（第7回）配布資料より一部抜粋	13
	2 平成28年度道徳教育研修会日程等一覧	15
	3 平成28年度市町道徳教育推進協議会参加者アンケート（様式）	16
	4 HP 豊かな心を育てる道徳教育コーナー	17
	5 道徳教育研修ハンドブック	18

平成28年5月12日(木)
広島県自治会館301会議室

豊かな心を育むひろいま宣言

～育てよう「心の元気!!」～

思っていますか
子どもたちの「心の元気!!」

かへての子どもたちが 生き生きと夢や希望を語る姿を
社会の一員としての自覚を持ち たくましく成長していくこと
それが私たち大人の願いです

しかし 子どもたちをとりまき理解はどうか
正しい出来事任せをたえません
ルールを守る習慣は養われています
まじめや努力を勉める風潮も広がっています

私たちが 無関心であることを 反省があることと勘違いしてはいけません
生き方を語ることを 歓迎していかねばなりません

生命を愛おしむ
人にとよぼよ
自分らしく心を拓かせる

道徳を教えることは 生き方を語ることで
自分を見つめ 「心の元気!!」を育てるかとあります
道徳を教えることに ためらいはありません
私たちが大人の大切な仕事です

さあ 拓けましょう
学校・家庭・地域で力を合わせ 子どもたちの「心の元気!!」を育てることを

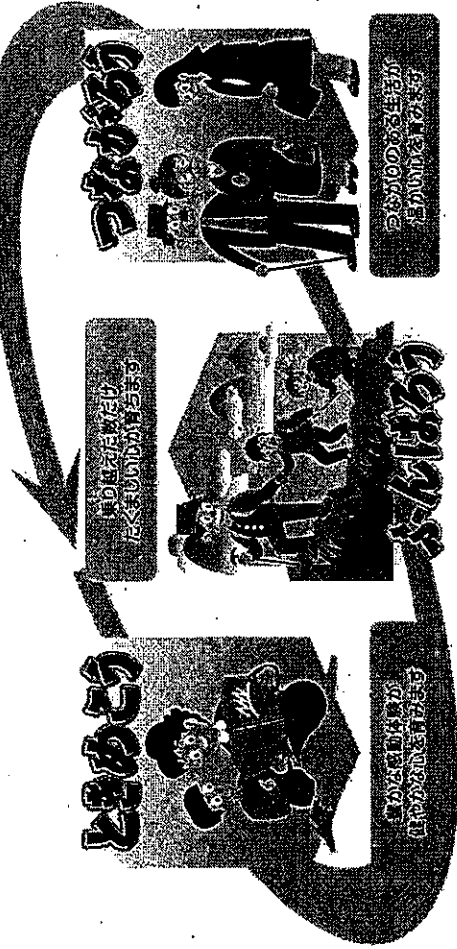
県教育委員会は 県民の皆様方のご支援をいただきながら
道徳教育の推進に全力を尽くしてまいります

平成14年11月

広島県教育委員会
教育長 菅 豊

「心の元気!!」が育つ環境をつくりましょう

この宣言は、県民ぐるみで心の教育を推進することを目的としたものです。



学校	家庭	地域	関係者
<ul style="list-style-type: none"> ●授業も教材も「心の元気!!」を取り組んでいます。 ●お年寄りの知識や経験に学ぶ機会をつくっています。 	<ul style="list-style-type: none"> ●子どもが「ふんばり」の習慣を身につけてほしいです。 ●読書の楽しさを子どもにも楽しんでもらいたいです。 	<ul style="list-style-type: none"> ●子どもたちが「心の元気!!」を育む環境を整えています。 ●子どもたちが自分だけの力で解決できるような課題を提示しています。 ●子どもたちの「ふんばり」習慣や読書の楽しさを広げています。 	<ul style="list-style-type: none"> ●日常的に「心の元気!!」を育む環境を整えています。 ●世代を超えて「心の元気!!」を育む環境を整えています。
<ul style="list-style-type: none"> ●授業も教材も「心の元気!!」を取り組んでいます。 ●お年寄りの知識や経験に学ぶ機会をつくっています。 	<ul style="list-style-type: none"> ●子どもが「ふんばり」の習慣を身につけてほしいです。 ●読書の楽しさを子どもにも楽しんでもらいたいです。 	<ul style="list-style-type: none"> ●子どもたちが「心の元気!!」を育む環境を整えています。 ●子どもたちが自分だけの力で解決できるような課題を提示しています。 ●子どもたちの「ふんばり」習慣や読書の楽しさを広げています。 	<ul style="list-style-type: none"> ●日常的に「心の元気!!」を育む環境を整えています。 ●世代を超えて「心の元気!!」を育む環境を整えています。
<ul style="list-style-type: none"> ●子どもたちが「心の元気!!」を育む環境を整えています。 ●子どもたちが自分だけの力で解決できるような課題を提示しています。 ●子どもたちの「ふんばり」習慣や読書の楽しさを広げています。 	<ul style="list-style-type: none"> ●子どもが「ふんばり」の習慣を身につけてほしいです。 ●読書の楽しさを子どもにも楽しんでもらいたいです。 	<ul style="list-style-type: none"> ●子どもたちが「心の元気!!」を育む環境を整えています。 ●子どもたちが自分だけの力で解決できるような課題を提示しています。 ●子どもたちの「ふんばり」習慣や読書の楽しさを広げています。 	<ul style="list-style-type: none"> ●日常的に「心の元気!!」を育む環境を整えています。 ●世代を超えて「心の元気!!」を育む環境を整えています。
<ul style="list-style-type: none"> ●子どもたちが「心の元気!!」を育む環境を整えています。 ●子どもたちが自分だけの力で解決できるような課題を提示しています。 ●子どもたちの「ふんばり」習慣や読書の楽しさを広げています。 	<ul style="list-style-type: none"> ●子どもが「ふんばり」の習慣を身につけてほしいです。 ●読書の楽しさを子どもにも楽しんでもらいたいです。 	<ul style="list-style-type: none"> ●子どもたちが「心の元気!!」を育む環境を整えています。 ●子どもたちが自分だけの力で解決できるような課題を提示しています。 ●子どもたちの「ふんばり」習慣や読書の楽しさを広げています。 	<ul style="list-style-type: none"> ●日常的に「心の元気!!」を育む環境を整えています。 ●世代を超えて「心の元気!!」を育む環境を整えています。

学校・家庭・地域の壁がなかわかりの中で、とぎめき、ふんばり、つなげるために上の例を参考にし、それぞれの「子育て三原則」をつくってみてください。

グローバル化する21世紀の社会を生き抜くための新しい教育モデルの構築

広島版「学びの变革」アクション・プラン

- コンピテンシーの育成を目指した主体的な学びの充実 -

＜背景＞

- グローバル化の進展などにより、あらゆる資源が国境を越えて行き交い、社会経済システムから一人一人の日常生活に至る広範な分野に影響（様々な課題がますます変化・複雑化・高度化する先行き不透明な社会へ）
- 一方で、少子化の影響により、広島県の成長・発展を支える人材の数が減少

グローバル化の進展や生産年齢人口が減少していく中で、「ピンチ」を「チャンス」に変えていくためには、「地域の成長・発展を支える人材」から「世界を舞台に活躍する人材」まで、厚みのある人材層の形成が不可欠

＜育成すべき人材像＞

広島で学んだことに誇りを持ち、胸を張って「広島」、「日本」を語り、高い志のもと、世界の人々と協働して新たな価値(イノベーション)を生み出すことのできる人材

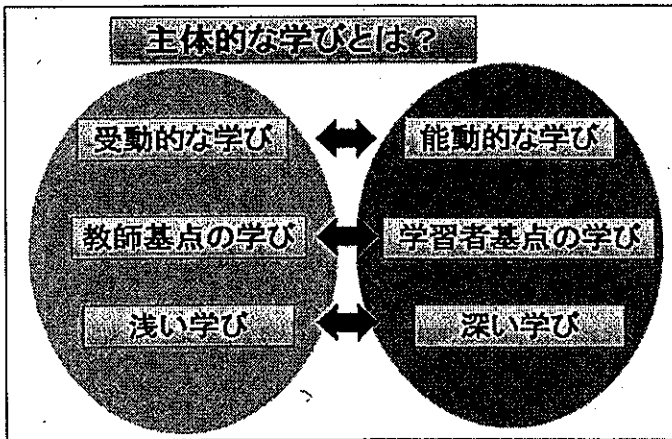
“変化の激しい社会を生き抜くことのできる資質・能力(学び続ける力)”の育成が必要

＜これからの新しい教育の方向性-学びの变革-＞

学力観	知識ベースの学び<受動的> 「何を知っているか」を重視 (INPUT) 知識 → (OUTPUT) ~できる 知識の習得 ⇒ ○ 知識の活用 ⇒ △ 学習意欲 ⇒ △	コンピテンシーの育成を目指した主体的な学び<能動的> 「知識を活用し、協働して新たな価値を生み出せるか」を重視 (INPUT) 知識 → 活用・協働 → (OUTPUT) ~できる [コンピテンシー4要素の向上] 「活用・協働」⇒ より深い知識の習得+スキルの育成 「~できる」⇒ 学びに価値を認め、意欲・態度が向上	知識・情報 スキル 課題発見・解決力 知識・情報活用能力 論理的・建設的批判能力 思考力・判断力・表現力 コミュニケーション能力 意欲・態度 協調性・柔軟性 主体性・積極性 回復力・耐える力 多様性に対する適応力 価値観・倫理観 自己理解・自らへの自信 異文化理解・共感力 アイデンティティ 高い志・使命感
	授業観 <知識伝達型> ● 目標(知識)積み上げ方式 - 知識伝達, 1時間完結, 個人の学び ● 各教科で縦割りの授業	授業観 <活用・協働・創造型> ● 目標(~できる)から逆算した授業設計 - 課題設定, 単元全体での学び, 協働的な学び・多様性の受容 ● 各教科の枠を超えた授業(探究・創造) ● 実社会との繋がりを重視した体験的な学びを重視	

＜“知識を活用し、協働して新たな価値を生み出せるか”を重視した取組＞

- ◎ 「課題発見・解決学習」 各教科で習得した知識やスキルを活用し、答えのない問題から最善解を創造
- ◎ 「異文化間協働活動」 体験を通して、違いに気付き、多様性を受容する中でグローバルマインドの涵養や実践的なコミュニケーション力の向上を図る



- ### 能動的な学びとは？
- ・ 内的動機づけに基づいている
 - ・ 学習に対する構えができている
 - ・ 自ら学びに関与している
 - ・ 自らの学びに自覚的である

- ### 学習者基点とは？
- ◆ 「知る」ことの本質は、自分自身で知識を構成することであること
 - ◆ 児童生徒の先行の経験と学校での学びを結びつけること
 - ◆ 児童生徒が日々の学習に影響している基本的な認知プロセスを意識的であること(メタ認知)

深い学びとは？

Ideas (考え・基礎知識) レベルの動詞	定義する、記述する、説明する、分類する、比べる、明らかにする、列挙する、位置づける、明確に理解する
Connections (つながり) レベルの動詞	応用する、比較する、対比する、類別する、組織化する、分類する、識別する、解釈する、統合する、修正する
Extensions (応用・ひろがり) レベルの動詞	計画する、展開する、診断する、評価する、既存の資料に基づいて推定する、審理する、予測する

教育再生実行会議 「いじめの問題等への対応について(第一次提言)」(平成25年2月26日)

子どもが命の尊厳を知り、自己肯定感を高め、他者への理解や思いやり、規範意識、自主性や責任感などの人間性・社会性を育む。国は、道徳教育を充実する。そのため、道徳の教材を抜本的に充実するとともに、道徳の特性を踏まえた新たな仕組みにより教科化し、指導内容を充実し、効果的な指導方法を明確化する。その際、現行の道徳教育の成果や課題を検証するとともに、諸外国における取組も参考に、丁寧に議論を重ねていくことを期待する。

道徳教育の充実に関する懇談会

「今後の道徳教育の改善・充実方策について」(報告) (H25.3.26設置、10回の審議を経て、H25.12.26報告)

◆ 道徳教育の課題

- ・ 学校間や教師間の差が大きい
- ・ 各教科等との役割分担や関連を意識した指導が不十分
- ・ 指導方法に不安を抱える教師が多い
- ・ 学年が上がるにつれて、児童生徒の受け止めがよくなる振り返らせたり、具体的にどう行動すればよいかという側面に關する指導が不十分

◆ 道徳教育の改善の方向性

道徳教育の改善を図るため、制度上、道徳の時間を「特別の教科(道徳)」として新たに位置付けることを検討すべき。

- ① 道徳教育の目標と「道徳の時間」の目標をわかりやすい記述に改め、両者の関係を明確化。
- ② 発達段階ごとに内容を明確化。いじめの防止や生命の尊重、自律心、家族や集団の一員としての自覚、ルールやマナー、法の意義を理解して守ること、社会の一員としての主体的な生き方、アイデンティティなどに留意。
- ③ 発達段階をより重視した指導方法の確立。具体的な動作等を取り入れた指導や問題解決的な指導の充実。全体計画の実質化、各教科等との関連付けの強化。
- ④ 数値による評価は今後も行わない。
- ⑤ 一定水準の授業が実施されるよう、教科書を導入することが適当。

- 「心のノート」を全面改訂した「私たちの道徳」を全国の小・中学校に配布。平成26年4月から使用開始。

中央教育審議会

「道徳に係る教育課程の改善等について」(答申) (H26.3.4設置、10回の審議を経て、H26.10.24答申)

- ① 道徳の時間は、学習指導要領に示された内容を体系的に学習し、各教科と共通する側面と、道徳教育全体の要となる人格全体に関わる道徳性を育成するものであり、原則として学校長が担当することが望ましいこと。数値による評価をなさないことなど、教科にない側面があることを踏まえ、道徳の時間を「特別の教科(道徳)」として位置付ける。

※特定の価値観を押し付けたり、主体性をもたず言われるままに行動するよう指導したりすることは、道徳教育が目指す方向の対極と指摘。

- ② 目標を、明確で理解しやすいものに改善。道徳教育の「特別の教科(道徳)」も、最終的には「道徳性」の育成が目標。道徳教育の目標は簡潔な表現に改め、「特別の教科(道徳)」(仮称)の目標は、判断力、道徳的心情、道徳的行為を行いたい欲や態度を育てることを通じて、よりよく生きていくための資質・能力を培うこととして提示。

- ③ 内容をより発達の段階を踏まえた体系的なものに改善。四つの視点の順序等を適切に見直し、キーワードなども活用しつつ、内容項目をより体系的で効果的に示す。情報モラルや生命倫理などの現代的課題の扱いを充実。

- ④ 対話や討論など言語活動を重視した指導、道徳的習慣や道徳的行為に關する指導、問題解決的な学習、小・中学校の違いを踏まえた指導など、多様で効果的な道徳教育の指導方法へと改善。家庭や地域にも開かれた道徳教育を進める。

- ⑤ 「特別の教科(道徳)」(仮称)の中心となる教材として、検定教科書を導入。

- ⑥ 一人一人のよさを伸ばし、成長を促すための評価を充実。多面的、継続的に把握し、総合的に評価。数値などによる評価は不適切。

※指導要領の具体的な改善案等については、会議を設け、今後専門的に検討。

学習指導要領等の一部改正

- ◇ 学校教育法施行規則において、道徳の時間を「特別の教科(道徳)」として位置付け、学習指導要領において、学校教育全体としての道徳教育に関するものは「第3章 総則」に、「特別の教科(道徳)」に関するものは「第3章 特別の教科(道徳)」へと構造化。

- ◇ 学校教育全体としての道徳教育の目標は、児童生徒の道徳性を養うという趣旨を明確化。道徳科の目標は、達成すべき資質・能力を明確化。

- ◇ 内容について、

- ・ 「自身自身」「人との関わり」「集団や社会との関わり」「生命や自然、崇高なものとの関わり」の視点により、構造化、体系化
- ・ 内容項目に応じたキーワード

- ・ いじめの問題への対応を充実
- ・ などの改善を行う。

- ◇ 指導方法の配慮事項として、問題解決的な学習、体験的な学習など指導方法の工夫のほか、情報モラル、環境、科学技術と生命倫理等に関する事項を追加。

- ◇ 教材については、教育基本法や学校教育法等に従い、発達の段階に即し、特定の見方や考え方に偏つた取扱いがなされていないことなどの配慮事項を明記。

- ◇ 評価については、児童生徒の成長の様子を把握することが基本。数値評価を行わないことは従前と同様。

※近く、専門家によるWGを設置し、専門的に検討。

- ◇ 道徳教育の全体計画や教育活動等の公表など、家庭や地域社会との連携について記載を充実。

第 1 章
総 説

1 改訂の経緯

■ 道德教育の使命：道德性（人格の完成及び国民の育成の基盤となるもの）を育てること

道德教育（「道德教育の充実に関する懇談会」報告（平成 25 年 12 月）

「自立した一人の人間として人生を他者とともにより良く生きる人格を形成することを目指すもの」

（これからの重要課題）

- 人間尊重の精神と生命に対する畏敬の念を前提に、人が互いに尊重し協働して社会を形作っていく上で共通に求められるルールやマナーを学び、規範意識などを育むとともに、人としてよりよく生きる上で大切なものとは何か、自分はどのように生きるべきかなどについて、時には悩み、葛藤しつつ、考えを深め、自らの生き方を育てていくこと。
 - グローバル化が進展する中で、様々な文化や価値観を背景とする人々と相互に尊重し合いながら生きること
 - 科学技術の発展や社会・経済の変化の中で、人間の幸福と社会の発展の調和的な実現を図ること
- （課題への対応：道德教育の果たすべき役割）

■ 社会を構成する主体である一人一人が、高い倫理観をもち、人としての生き方や社会の在り方について、時に対立がある場合を含めて、多様な価値観の存在を認識しつつ、自ら感じ、考え、他者と対話し協働しながら、よりよい方向を目指す資質・能力を備えること

■ 人が一生を通じて追求すべき人格形成の根幹に関わるものであり、同時に、民主的な国家・社会の持続的発展を根底で支えるもの

■ 内省しつつ物事の本質を考える力や何事にも主体性をもって誠実に向き合う意志や態度、豊かな情操などは、「豊かな心」だけでなく、「確かな学力」や「健やかな体」の基盤になり、「生きる力」を育む上で極めて重

我が国の学校教育における道德教育： 道德の時間を要として学校の教育活動全体を通じて行う

- （課題）
- ・ 歴史的経緯に影響され、いまだに道德教育そのものを忌避しがちな風潮があること
 - ・ 他教科に比べて軽んじられていること
 - ・ 読み物の登場人物の心情理解のみに偏った形式的な指導が行われる例があることなど

平成 26 年 10 月 「道德に係る教育課程の改善等について」答申（平成 26 年 2 月 文部科学大臣諮問）、

- ① 道德の時間を「特別の教科道德」（仮称）として位置付けること
- ② 目標を明確で理解しやすいものに改善すること
- ③ 道德教育の目標と「特別の教科道德」（仮称）の目標の関係を明確にすること
- ④ 道德の内容をより発達の段階を踏まえた体系的なものに改善すること
- ⑤ 多様で効果的な道德教育の指導方法へと改善すること
- ⑥ 「特別の教科道德」（仮称）に検定教科書を導入すること
- ⑦ 一人一人のよさを伸ばし、成長を促すための評価を充実すること

平成 27 年 3 月 27 日に学校教育法施行規則を改正し、「道德」を「特別の教科である道德」と学習指導要領の一部改正の告示を公示

発達の段階に応じ、答えが一つではない道德的な課題を一人一人の児童が自分自身の問題と捉え、向き合う「考える道德」、「議論する道德」へと転換を図るもの

学年・学校段階	道徳の教科	内容	目標	内容	目標	内容	目標
小学校第1学年及び第2学年	道徳の別称 自他、自由と責任	(1) よいことと悪いこととの区別をし、よいと思うことを進んで行うこと。 (2) うそをついたりごまかしをしたりしないで、素直に伸び伸びと生活すること。 (3) 健康や安全に気を付け、朝や昼食を大切にし、身の回りを整え、わがままをしない、身だしなみを整えること。 (4) 自分の特徴に気づき、長所を伸ばすこと。	1-0 1-1 1-4	(1) 正しいと判断したことは、自信をもって行うこと。 (2) 誇りに誇らし、勇気を持って生活すること。 (3) 自分のできること、自信を持って、安全に気をつけて行動し、自分の生活を良くすること。 (4) 自分の特徴を知り、長所を伸ばすこと。	1-0 1-1 1-4	(1) 自信を大切に、自信を持って行動すること。 (2) 誇りに誇らし、勇気を持って生活すること。 (3) 自分のできること、自信を持って、安全に気をつけて行動し、自分の生活を良くすること。 (4) 自分の特徴を知り、長所を伸ばすこと。	1-0 1-1 1-4
小学校第5学年及び第6学年	道徳の別称 自他、自由と責任	(1) 正しいと判断したことは、自信をもって行うこと。 (2) 誇りに誇らし、勇気を持って生活すること。 (3) 自分のできること、自信を持って、安全に気をつけて行動し、自分の生活を良くすること。 (4) 自分の特徴を知り、長所を伸ばすこと。 (5) 自分でやろうと決めた目標に向かって、強い意志をもって、粘り強く取り組むこと。	1-0 1-1 1-4	(1) 自信を大切に、自信を持って行動すること。 (2) 誇りに誇らし、勇気を持って生活すること。 (3) 自分のできること、自信を持って、安全に気をつけて行動し、自分の生活を良くすること。 (4) 自分の特徴を知り、長所を伸ばすこと。 (5) 自分でやろうと決めた目標に向かって、強い意志をもって、粘り強く取り組むこと。	1-0 1-1 1-4	(1) 自信を大切に、自信を持って行動すること。 (2) 誇りに誇らし、勇気を持って生活すること。 (3) 自分のできること、自信を持って、安全に気をつけて行動し、自分の生活を良くすること。 (4) 自分の特徴を知り、長所を伸ばすこと。 (5) 自分でやろうと決めた目標に向かって、強い意志をもって、粘り強く取り組むこと。	1-0 1-1 1-4
中学校(22)	道徳の別称 自他、自由と責任	(1) 自信を大切に、自信を持って行動すること。 (2) 誇りに誇らし、勇気を持って生活すること。 (3) 自分のできること、自信を持って、安全に気をつけて行動し、自分の生活を良くすること。 (4) 自分の特徴を知り、長所を伸ばすこと。 (5) 自分でやろうと決めた目標に向かって、強い意志をもって、粘り強く取り組むこと。	1-0 1-1 1-4	(1) 自信を大切に、自信を持って行動すること。 (2) 誇りに誇らし、勇気を持って生活すること。 (3) 自分のできること、自信を持って、安全に気をつけて行動し、自分の生活を良くすること。 (4) 自分の特徴を知り、長所を伸ばすこと。 (5) 自分でやろうと決めた目標に向かって、強い意志をもって、粘り強く取り組むこと。	1-0 1-1 1-4	(1) 自信を大切に、自信を持って行動すること。 (2) 誇りに誇らし、勇気を持って生活すること。 (3) 自分のできること、自信を持って、安全に気をつけて行動し、自分の生活を良くすること。 (4) 自分の特徴を知り、長所を伸ばすこと。 (5) 自分でやろうと決めた目標に向かって、強い意志をもって、粘り強く取り組むこと。	1-0 1-1 1-4

平成27年度道徳教育パワーアップフォーラムアンケート集計結果年度比較（教職員）

※平成16～25は、名称が心の元気！1000人フォーラム

		年度											
		平成16	平成17	平成19	平成20	平成21	平成22	平成23	平成24	平成25	平成26	平成27	
1	今日のフォーラムは、自校の道徳教育の推進に向けて参考になりましたか。	とても	53.0%	55.0%	27.0%	26.5%	19.0%	29.0%	27.5%	38.0%	54.4%	57.5%	55.7%
		おおむね	46.0%	43.0%	66.0%	68.9%	72.7%	67.0%	67.4%	60.6%	44.0%	41.7%	43.4%
		あまり	1.0%	2.0%	7.0%	4.5%	7.6%	4.0%	4.8%	1.4%	1.5%	0.9%	0.7%
		まったく	0.0%	0.0%	0.0%	0.1%	0.7%	0.0%	0.3%	0.0%	0.1%	0.0%	0.1%
		肯定率	99.0%	98.0%	93.0%	95.4%	91.7%	96.0%	94.9%	98.6%	98.4%	99.1%	99.2%
2	自校の「道徳の時間」（※高等学校、特別支援学校高等部の場合 道徳教育）は充実していると思いますか。	とても	6.0%	12.0%	4.0%	4.1%	4.3%	4.0%	6.0%	6.0%	6.5%	7.7%	8.6%
		おおむね	66.0%	62.0%	64.0%	64.3%	68.9%	72.0%	67.6%	76.1%	72.1%	76.2%	70.8%
		あまり	27.0%	26.0%	31.0%	30.7%	25.5%	23.0%	25.3%	17.7%	20.0%	15.6%	20.1%
		まったく	1.0%	0.0%	1.0%	0.9%	1.3%	1.0%	1.0%	0.2%	1.4%	0.4%	0.4%
		肯定率	72.0%	74.0%	68.0%	68.4%	73.2%	76.0%	73.6%	82.1%	78.6%	83.9%	79.4%
3	自校の道徳教育に関する研修は充実していると思いますか。	とても	4.0%	8.0%							7.6%	6.9%	7.3%
		おおむね	29.0%	41.0%							55.1%	59.9%	54.6%
		あまり	55.0%	43.0%							34.6%	32.7%	35.8%
		まったく	12.0%	8.0%							2.7%	0.6%	2.2%
		肯定率	33.0%	49.0%							62.7%	66.7%	62.0%
4	道徳教育の推進を主に担当する教師（道徳教育推進教師）は、校務分掌上機能していると思いますか。（※高等学校、特別支援学校高等部は回答不要）	とても	12.0%	12.0%	6.0%	4.3%	6.7%	5.0%	6.9%	7.0%	8.0%	10.0%	9.0%
		おおむね	43.0%	47.0%	51.0%	48.3%	53.3%	58.0%	59.2%	63.3%	60.2%	58.0%	52.0%
		あまり	40.0%	3.0%	39.0%	46.1%	37.8%	35.0%	32.4%	27.2%	29.0%	30.8%	36.0%
		まったく	5.0%	38.0%	4.0%	1.3%	2.2%	1.0%	1.5%	2.5%	2.8%	1.2%	2.9%
		肯定率	55.0%	59.0%	57.0%	52.6%	60.0%	63.0%	66.1%	70.3%	68.2%	68.0%	61.0%
5	自校では、児童生徒に道徳性を育成するための体験活動は充実していると思いますか。	とても			9.0%	8.8%	12.7%	12.0%	11.1%	13.7%	15.3%	16.1%	13.1%
		おおむね			51.0%	57.0%	55.3%	57.0%	56.2%	61.9%	63.8%	63.9%	63.5%
		あまり			38.0%	33.5%	30.5%	30.0%	31.3%	23.9%	19.5%	19.3%	22.0%
		まったく			2.0%	0.7%	1.4%	1.0%	1.4%	0.5%	1.4%	0.7%	1.4%
		肯定率			60.0%	65.8%	68.0%	69.0%	67.3%	75.6%	79.1%	80.0%	76.6%
6	自校では、家庭・地域社会と連携した道徳教育が進められていると思いますか。	とても			3.0%	2.4%	4.4%	5.0%	4.3%	5.9%	6.8%	7.0%	7.5%
		おおむね			36.0%	39.9%	48.1%	51.0%	52.7%	60.1%	58.1%	57.6%	56.1%
		あまり			56.0%	55.4%	45.5%	42.0%	40.2%	32.8%	32.3%	34.2%	34.6%
		まったく			5.0%	2.3%	2.0%	2.0%	2.8%	1.2%	2.8%	1.2%	1.8%
		肯定率			39.0%	42.4%	52.5%	56.0%	57.0%	66.0%	64.9%	64.6%	63.6%
7①	「道徳の時間」を保護者に公開している。	はい		83.0%	86.0%	87.4%	91.9%	96.0%	90.7%	93.0%	92.8%	95.3%	92.5%
		いいえ		17.0%	14.0%	12.6%	8.1%	4.0%	9.3%	7.0%	7.2%	4.7%	7.5%
7②	「道徳の時間」を地域の人々に公開している。	はい		62.0%	61.0%	69.6%	72.0%	70.0%	71.5%	72.7%	77.5%	82.2%	80.1%
		いいえ		38.0%	39.0%	30.4%	28.0%	30.0%	28.5%	27.3%	22.5%	17.8%	19.9%
7③	道徳教育について保護者（または地域の人々）と懇談会をもっている。	はい		29.0%	37.0%	38.4%	46.8%	51.0%	48.8%	53.4%	59.3%	64.5%	55.6%
		いいえ		71.0%	63.0%	61.6%	53.2%	49.0%	51.2%	46.6%	40.7%	35.5%	44.4%
7④	道徳教育の取組を学校・学年・学級通信やホームページ等で紹介している。	はい		35.0%	74.0%	74.6%	69.9%	67.0%	65.5%	72.0%	74.5%	77.4%	79.5%
		いいえ		65.0%	26.0%	25.4%	30.1%	33.0%	34.5%	28.0%	25.5%	22.6%	20.5%
7⑤	保護者や地域の人々の参加・協力を求めた道徳の授業を行っている。	はい		23.0%	40.0%	44.3%	51.1%	50.0%	51.1%	55.1%	53.9%	57.8%	56.3%
		いいえ		77.0%	60.0%	55.7%	48.9%	50.0%	48.9%	44.9%	46.1%	42.2%	43.7%
7⑥	地域の人々の協力を得て、魅力的な教材を開発している。	はい					28.9%	33.0%	38.6%	39.5%	38.3%	37.6%	36.4%
		いいえ					71.1%	67.0%	61.4%	60.5%	61.7%	62.4%	63.6%
7⑦	道徳性を養う体験活動を保護者や地域の人々の参加を求めて行っている。	はい			59.0%	59.8%	59.3%	60.0%	61.0%	68.1%	67.0%	68.5%	66.4%
		いいえ			41.0%	40.2%	40.7%	40.0%	39.0%	31.9%	33.0%	31.5%	33.6%

【肯定的な回答の割合】

は、27年度が26年度より低い。

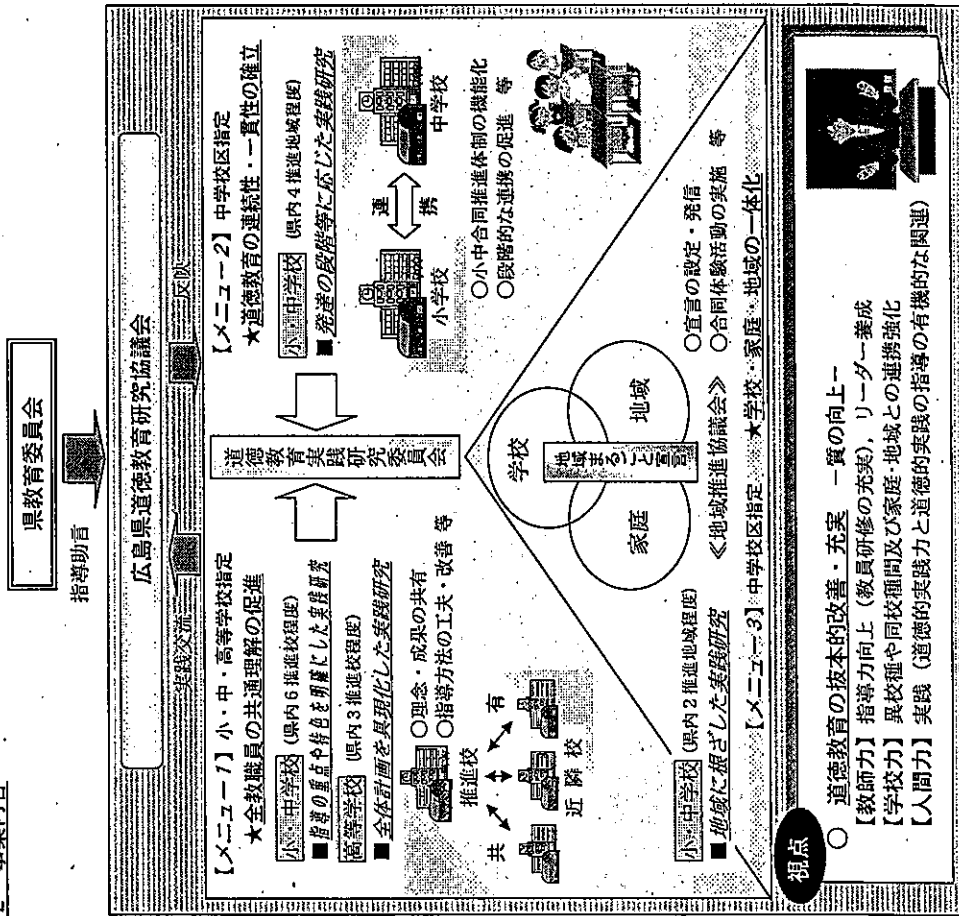
問	項目	平成26年度	平成27年度	
		第2回	第1回	第2回
1	今日の研修会は、自校の道德教育の推進に向けて参考になりましたか。	100%	100%	100%
2	自校の「道德の時間」の内容は充実していると思いますか。	97%	95%	96%
3: 道德教育に関する研修の充実について		83%	86%	84%
3-(1)	研修内容と学校の重点課題とのつながりが明確になっている。	92%	93%	94%
3-(2)	道德教育推進教師を中心に、研修の企画・運営を協働して行っている。	84%	86%	85%
3-(3)	研修成果を実践につなげやすくする工夫をしている(参加型研修等)。	75%	78%	73%
4	近隣校同士の道德教育に関する情報交換や研修は充実していると思いますか。	69%	65%	70%
5	自校では、道德教育の取組を通信やホームページなどで計画的に紹介していますか。	66%	61%	64%
6: 道德教育推進教師の機能化について		87%	85%	87%
6-(1)	道德教育の指導計画の評価・改善を行っている。	95%	91%	94%
6-(2)	各学級の道德の時間の実施状況を把握している。	95%	93%	94%
6-(3)	各学級の道德の時間の充実のために指導助言している。	74%	68%	73%
6-(4)	道德教育の研修を実施している。	89%	90%	89%
6-(5)	校外の道德教育に関する研修の内容を回覧等で校内に情報提供している。	84%	83%	86%
7	自校では、魅力的な教材の開発(地域教材を含め)に取り組んでいる。	74%	72%	75%
	はいと答えた場合(全校・一部) ※肯定の欄: 全校と答えた人数	19%	21%	20%
8	自校では、「広島県道德教育指導資料」(地域教材開発の手引、読み物教材例集・授業展開例集)を活用した。	77%	75%	80%
	はいと答えた場合(全校・一部) ※肯定の欄: 全校と答えた人数	21%	23%	22%
9-(1)	自校では、「道德の時間」を保護者に公開している。	98%	97%	98%
9-(2)	自校では、「道德の時間」を地域に公開している。	88%	88%	88%
9-(3)	自校では、道德教育について保護者や地域の方々と懇談会をもっている。	75%	73%	74%
9-(4)	自校では、保護者や地域の人々の参加・協力による道德授業を行っている。	62%	62%	58%
9-(5)	自校では、地域の人材の協力を得て、魅力的な教材を開発している。	46%	46%	45%
10: 「私たちの道德」の活用について				
10-(1)	自校では、道德教育の全体計画に位置付けている。	98%	98%	99%
10-(2)	自校では、道德の時間の年間指導計画に位置付けている。	98%	99%	99%
10-(3) ①	「私たちの道德」の活用場面: 各教科	71%	66%	65%
10-(3) ②	「私たちの道德」の活用場面: 道德の時間	100%	100%	99%
10-(3) ③	「私たちの道德」の活用場面: 外国語活動(小学校のみ)	31%	35%	31%
10-(3) ④	「私たちの道德」の活用場面: 総合的な学習の時間	75%	67%	66%
10-(3) ⑤	「私たちの道德」の活用場面: 特別活動	83%	79%	78%
10-(3) ⑥	「私たちの道德」の活用場面: 上記①～⑤以外の学校での生活場面や教育活動	69%	66%	63%
10-(3) ⑦	「私たちの道德」の活用場面: 家庭での生活	81%	73%	72%
10-(3) ⑧	「私たちの道德」の活用場面: 家庭や地域との連携	72%	68%	61%
10-(3) ⑨	「私たちの道德」の活用場面: その他	20%	23%	16%
10-(4)	自校では、児童生徒による自主的な活用を促している。	72%	69%	66%

「道徳教育改善・充実」総合対策事業

1 事業目的

平成27年3月3日(27)の学習指導要領一部改正等において、従来の「道徳の時間」を「特別の教科 道徳」と新たに位置付け、問題解決的な学習などの指導方法の工夫を図ることが示されたことなどを踏まえて、「考え、議論する道徳」へと質的に転換を図るため、改正学習指導要領を踏まえた効果的かつ多様な指導方法の普及等による教員の指導力向上、家庭・地域との連携強化などの地域の特色を生かした取組を推進する実践研究を行い、その成果を県内に普及する。

2 事業内容



よりよい生き方を実践する力を育む道徳教育の推進による
児童生徒の豊かな心の育成

【メニュー1】小・中・高等学校道徳教育の質的充実

◎目的

生命尊重、社会性、規範意識等の意識醸成などの今日的課題や各学校段階の指導の重点や特色を踏まえ、小学校・中学校・高等学校において、近隣校との連携を通して、学校全体で取り組む道徳教育の質的充実を図るための実践研究を行い、その成果を近隣校及び県内に普及する。

◎内容

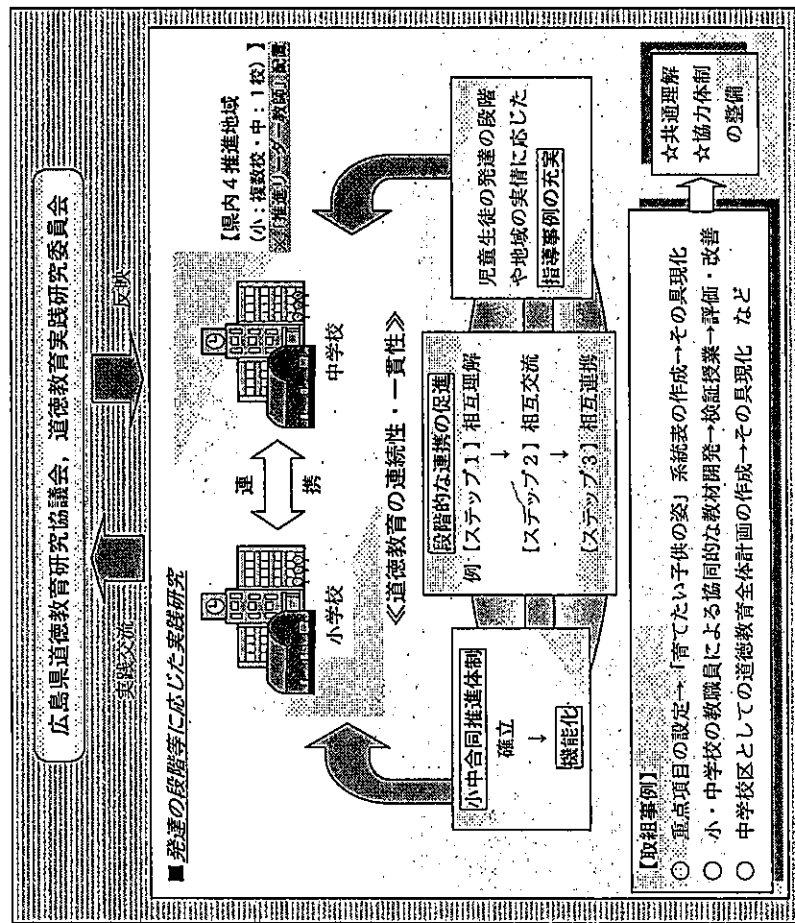


【メニュー2】 小中連携による道徳教育の充実・発展

◎目的

小・中学校段階・各学年段階において、より効果的な指導がおこなわれるよう、児童生徒の発達段階及び地域等の実情を踏まえ、異校種や同校種間等との連携による創意工夫を生かした道徳教育を推進するための実践研究を行い、その成果を県内に普及する。

◎内容



事業ポイント

- ★道徳教育の連続性・一貫性の確立
- 【連携・系統】 異校種や同校種間、家庭・地域等との連携体制の充実
- 【開発・活用】 系統性を踏まえた多様な道徳教育用教材の選択・開発とその効果的な活用（「私たちの道徳」を含む）

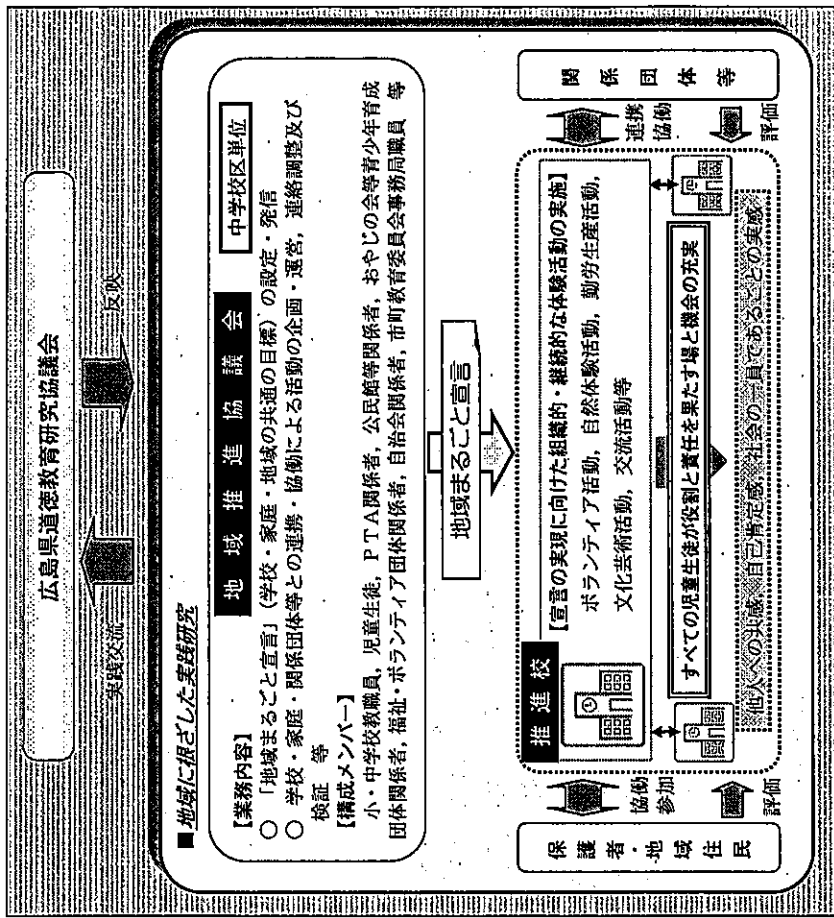


【メニュー3】 学校・家庭・地域・連携による道徳教育の充実・発展

◎目的

小・中学校が、家庭や地域と一体となった体験活動を行う中で、児童生徒の自尊感情を高め、社会参加の意欲や態度など豊かな心を育てることにより、生徒指導上の諸問題の未然防止を図るための実践研究を行い、その成果を県内に普及する。

◎内容



事業ポイント

- ★学校・家庭・地域・一体化
- 【連携・協働】 地域の教育・文化づくり
- 【関連・補完】 道徳教育と生徒指導等との関連
- <豊かな心の育成と生徒指導上の諸問題の未然防止>



平成 28 年度「道德教育改善・充実」総合対策事業 推進校・推進地域一覧

<メニュー 1> 推進校：小学校 3 校 中学校 3 校 高等学校 3 校

事務所等	市町等	学校	校種
西部	東広島市	志和中学校	中
	廿日市市	津田小学校	小
芸北	安芸高田市	可愛小学校	小
東部	尾道市	美木中学校	中
北部	三次市	甲奴小学校	小
	福山市	駅家南中学校	中
	県立	千代田高等学校	高
		音戸高等学校	高
		西城紫水高等学校	高

<メニュー 2> 推進地域：4 中学校区

事務所等	市町	中学校区	センター校	連携校
西部	竹原市	忠海中学校区	忠海中学校	忠海小学校
芸北	安芸太田町	筒賀中学校区	筒賀中学校	筒賀小学校
東部	三原市	本郷中学校区	本郷小学校	本郷中学校 本郷西小学校
北部	庄原市	高野中学校区	高野小学校	高野中学校

<メニュー 3> 推進地域：2 中学校区

事務所	市町	中学校区	センター校	推進地域校
東部	府中市	府中中学校区	府中中学校	府中小学校
北部	庄原市	総領中学校区	総領中学校	総領小学校

平成 28 年度「道德教育改善・充実」総合対策事業における
道德教育実践研究委員会実施要項（小・中学校部会）

1 趣旨

「道德教育改善・充実」総合対策事業における推進校及び推進地域の道德教育担当者が情報交換や研究協議等を行い、本県道德教育を推進するリーダーを育成する。

2 参加対象者

①「道德教育改善・充実」総合対策事業のメニュー 1・2 における推進リーダー教師

②広島県教育委員会関係者

③各市町教育委員会の道德教育担当者（希望）

④研修会場の近隣校教職員（希望）

※①は終日参加 ④は午後から参加

3 内容

- ・道德教育推進に係る指導力向上を図るための授業研究、演習、講話等の実施
- ・推進校及び推進地域の研究内容の充実に向けた情報提供
- ・有識者や優れた実践者による指導
- ・各回で事前に示されたテーマ、課題についての実践交流、研究協議

4 実施計画

回	日時	会場	テーマ・講師
1	5月25日(水)	広島県庁 自治会館 301	「道德教育を推進していくために ～『特別の教科 道德』の趣旨を踏まえた授業づくりについて～」 香川大学大学院教育学研究科 准教授 植田和也
2	6月28日(火)	安芸高田市立 可愛小学校	「道德科の特質を生かした計画的・発展的な指導の工夫」
3	7月14日(木)	尾道市立 美木中学校	「道徳的行為に関する体験的な学習等を取り入れる工夫」
4	9月29日(木)	廿日市市立 津田小学校	「生命を尊重する心を育む道德教育」
5	10月20日(木)	東広島市立 志和中学校	「道德の時間における問題解決的な学習の工夫」
6	11月16日(水)	三原市立 本郷小学校	「家庭や地域社会との連携による道德教育」
7	12月13日(火)	竹原市立 忠海中学校	「道德の時間における現代的な課題に関する指導の工夫」
8	1月12日(木)	広島県庁	「道德教育の研究の振り返りとまとめ」

道徳の事例

中学

【応用・ひろがり】
自分でできることは自分から、安全に気を付け、他の人がやらないで済むように行動し、節度ある生活をしよとすることを考える。

【つながり】
節度ある生活をするための大切なこと、よく考え行動し、節度ある生活をしよとすることを考える。

【考え・基礎知識】
自分がままだと、規則正しい生活をする。

- ◇ 学年 第3学年
◇ 主題名 よく考えて節度ある生活 (内容項目 1-11)
◇ 本時のねらい 「少しだけなら」と、興味深いサイトに進んだ時や、タイマーの音に気が付いた時の振れ動くあつしの気持ちを考えることを通して、節度ある生活をするための大切さを理解すること、よく考え行動し、節度ある生活をしよとすることを考える。
◇ 資料名 少しだけなら (出典:「私たちの道徳 小学校三・四年」 文部科学省)
◇ 学習の流れ(1時間目/全1時間)

Table with columns: 学習活動, 指導上の留意事項, 評価 (評価方法), 評価 (評価方法). Includes activities like '少しくらいなら', 'ゲームソフトの割引券', and 'タイマーの音' with evaluation methods like '振り返りシート' and 'グループワーク'.

道徳の事例

小学

【応用・ひろがり】
法やきまりの意義を理解し、秩序と規律のある社会を築くために、安全に行動し、節度ある生活をしよとすることを考える。

【つながり】
法やきまりの意義を理解し、秩序と規律のある社会を築くために、安全に行動し、節度ある生活をしよとすることを考える。

【考え・基礎知識】
学校や社会には、様々な法やきまりがあり、それらを守って行動する。

- ◇ 学年 第3学年
◇ 主題名 きまりを守る (内容項目 4-11)
◇ 本時のねらい 元さんのことについて行動や元さんが「晴れ晴れとした顔」をしているのかを考えて、元さんのことを思い出し、法やきまりの意義を理解し、秩序と規律のある社会を築くために、安全に行動し、節度ある生活をしよとすることを考える。
◇ 資料名 二通の手紙 (出典:「私たちの道徳 中学校」 文部科学省)
◇ 学習の流れ(1時間目/全1時間)

Table with columns: 学習活動, 指導上の留意事項, 評価 (評価方法), 評価 (評価方法). Includes activities like '二通の手紙を読む', '元さんのことについて考える', and 'お礼の手紙を書く' with evaluation methods like '振り返りシート' and 'グループワーク'.

【3】質の高い多様な指導方法

- このような道徳教育の質的転換のためには、質の高い多様な指導方法の確立が求められており、本専門家会議においては多様な指導方法の実践的な取組についてヒアリングを行った。そこで出された道徳科の質の高い多様な指導方法は「別紙1」に示すとおりであり、それぞれの特長は以下のとおりである。
 - ① 読み物教材の登場人物への自我関与が中心の学習

教材の登場人物の心情と自分との関わりについて、多面的・多角的に考えることを通し、道徳的諸価値の理解を深めることについて効果的な指導方法であり、登場人物に自分を投影して、その判断や心情を考えることにより、道徳的価値の理解を深めることができる。
 - ② 問題解決的な学習

児童生徒一人一人が生きる上で出会う様々な道徳的諸価値に関わる問題や課題を主体的に解決するために必要な資質・能力を養うことができる。

問題場面について児童生徒自身の考えの根拠を問う発問や、問題場面を実際の自分に当てはめて考えてみることを促す発問、問題場面における道徳的価値の意味を考えさせる発問によって、価値を実現するための資質・能力を養うことができる。
 - ③ 道徳的行為に関する体験的な学習

役割演技などの体験的な学習を通して、実際の問題場面を実感を伴って理解することを通して、様々な問題や課題を主体的に解決するために必要な資質・能力を養うことができる。

問題場面を実際体験してみること、また、それに対して自分ならどのような行動をとるかという問題解決のための役割演技を通して、道徳的価値を実現するための実践的な資質・能力を養うことができる。
- このような質の高い多様な指導を展開するに当たっては、道徳科の授業としての「質」の確保・向上の観点から、道徳科の特質を踏まえるとともに、発達段階を考慮することが重要である。また、道徳的な問題には、例えば、①道徳的諸価値が実現されていないことに起因する問題、②道徳的諸価値について理解が不十分又は誤解していることから生じる問題、③道徳的諸価値のことは理解しているが、それを実現しようとする自分とそうできない自分との葛藤から生じる問題、④複数の道徳的価値の間の対立から生じる問題などがあり、これらの問題構造を踏まえた場面設定がなされることが求められる。
- なお、「別紙1」に示した指導方法も例示に過ぎず、指導に当たっては、学習指導要領の趣旨をしっかりと把握し、指導する教員一人一人が、学校の実態や児童生徒の実態に応じて、適切な工夫改良を加えながら適切な指導方法を選択することが求められる。

道徳科における質の高い多様な指導方法について (案)

ねらい	登場人物の登場人物への自我関与が中心の学習	問題解決的な学習	体験的な学習	役割演技	道徳的行為	主題やねらいの設定が不十分な単なる生活経験の話合い		
						導入	展開	
	<p>教材の登場人物の心情を自分との関わりで多面的・多角的に考えることなどを通じて、道徳的価値の理解を深める。</p> <p>学習指導要領においては、道徳科の目標を「道徳性を養うため、道徳的価値についての理解を深め、自己をみつめ、物事を多面的・多角的に考え、自己(人としての)生き方についての考えを深める」と定めている。</p> <p>①道徳的価値の提示 道徳的価値の提示が、道徳的価値の理解を深めるための重要な役割を担っている。道徳的価値の提示は、道徳的価値の理解を深めるための重要な役割を担っている。</p> <p>②登場人物の心情理解 登場人物の心情を理解することは、道徳的価値の理解を深めるための重要な役割を担っている。</p> <p>③振り返り 振り返りを行うことは、道徳的価値の理解を深めるための重要な役割を担っている。</p>	<p>問題解決的な学習を通して、児童生徒一人一人が生きていく上で出会う様々な問題や課題を主体的に解決するために必要な資質・能力を養う。(原理、根拠、適用)</p> <p>①道徳的価値の考察 道徳的価値の考察は、道徳的価値の理解を深めるための重要な役割を担っている。</p> <p>②道徳的価値の状況分析 道徳的価値の状況分析を行うことは、道徳的価値の理解を深めるための重要な役割を担っている。</p> <p>③道徳的価値の状況分析 道徳的価値の状況分析を行うことは、道徳的価値の理解を深めるための重要な役割を担っている。</p> <p>④シミュレーション シミュレーションを行うことは、道徳的価値の理解を深めるための重要な役割を担っている。</p> <p>⑤まとめ まとめを行うことは、道徳的価値の理解を深めるための重要な役割を担っている。</p>	<p>問題解決的な学習を通して、児童生徒一人一人が生きていく上で出会う様々な問題や課題を主体的に解決するために必要な資質・能力を養う。(原理、根拠、適用)</p> <p>①道徳的価値の考察 道徳的価値の考察は、道徳的価値の理解を深めるための重要な役割を担っている。</p> <p>②道徳的価値の状況分析 道徳的価値の状況分析を行うことは、道徳的価値の理解を深めるための重要な役割を担っている。</p> <p>③道徳的価値の状況分析 道徳的価値の状況分析を行うことは、道徳的価値の理解を深めるための重要な役割を担っている。</p> <p>④シミュレーション シミュレーションを行うことは、道徳的価値の理解を深めるための重要な役割を担っている。</p> <p>⑤まとめ まとめを行うことは、道徳的価値の理解を深めるための重要な役割を担っている。</p>	<p>役割演技などの体験的な学習を通して、道徳的価値の理解を深め、様々な課題や問題を主体に解決するために必要な資質・能力を養う。(原理、根拠、適用)</p> <p>①教材の提示 教材の提示は、道徳的価値の理解を深めるための重要な役割を担っている。</p> <p>②道徳的価値の状況分析 道徳的価値の状況分析を行うことは、道徳的価値の理解を深めるための重要な役割を担っている。</p> <p>③道徳的価値の状況分析 道徳的価値の状況分析を行うことは、道徳的価値の理解を深めるための重要な役割を担っている。</p> <p>④道徳的価値の状況分析 道徳的価値の状況分析を行うことは、道徳的価値の理解を深めるための重要な役割を担っている。</p> <p>⑤道徳的価値の状況分析 道徳的価値の状況分析を行うことは、道徳的価値の理解を深めるための重要な役割を担っている。</p>	<p>道徳的価値の考察 道徳的価値の考察は、道徳的価値の理解を深めるための重要な役割を担っている。</p> <p>道徳的価値の状況分析 道徳的価値の状況分析を行うことは、道徳的価値の理解を深めるための重要な役割を担っている。</p> <p>道徳的価値の状況分析 道徳的価値の状況分析を行うことは、道徳的価値の理解を深めるための重要な役割を担っている。</p> <p>道徳的価値の状況分析 道徳的価値の状況分析を行うことは、道徳的価値の理解を深めるための重要な役割を担っている。</p> <p>道徳的価値の状況分析 道徳的価値の状況分析を行うことは、道徳的価値の理解を深めるための重要な役割を担っている。</p>	<p>道徳的価値の考察 道徳的価値の考察は、道徳的価値の理解を深めるための重要な役割を担っている。</p> <p>道徳的価値の状況分析 道徳的価値の状況分析を行うことは、道徳的価値の理解を深めるための重要な役割を担っている。</p> <p>道徳的価値の状況分析 道徳的価値の状況分析を行うことは、道徳的価値の理解を深めるための重要な役割を担っている。</p> <p>道徳的価値の状況分析 道徳的価値の状況分析を行うことは、道徳的価値の理解を深めるための重要な役割を担っている。</p> <p>道徳的価値の状況分析 道徳的価値の状況分析を行うことは、道徳的価値の理解を深めるための重要な役割を担っている。</p>	<p>道徳的価値の考察 道徳的価値の考察は、道徳的価値の理解を深めるための重要な役割を担っている。</p> <p>道徳的価値の状況分析 道徳的価値の状況分析を行うことは、道徳的価値の理解を深めるための重要な役割を担っている。</p> <p>道徳的価値の状況分析 道徳的価値の状況分析を行うことは、道徳的価値の理解を深めるための重要な役割を担っている。</p> <p>道徳的価値の状況分析 道徳的価値の状況分析を行うことは、道徳的価値の理解を深めるための重要な役割を担っている。</p> <p>道徳的価値の状況分析 道徳的価値の状況分析を行うことは、道徳的価値の理解を深めるための重要な役割を担っている。</p>	<p>道徳的価値の考察 道徳的価値の考察は、道徳的価値の理解を深めるための重要な役割を担っている。</p> <p>道徳的価値の状況分析 道徳的価値の状況分析を行うことは、道徳的価値の理解を深めるための重要な役割を担っている。</p> <p>道徳的価値の状況分析 道徳的価値の状況分析を行うことは、道徳的価値の理解を深めるための重要な役割を担っている。</p> <p>道徳的価値の状況分析 道徳的価値の状況分析を行うことは、道徳的価値の理解を深めるための重要な役割を担っている。</p> <p>道徳的価値の状況分析 道徳的価値の状況分析を行うことは、道徳的価値の理解を深めるための重要な役割を担っている。</p>
ねらい	登場人物の心情理解のみの指導							
具体例	導入	展開	展開	展開				
	振り返り							

平成28年度 道徳教育研修会 日程等一覧

研修会名	回	期日	時間	会場	参加対象者等
広島県道徳教育推進連絡会議	第1回	5月12日 (木)	13:15～ 16:40	自治会館 301, 304	・各市町道徳教育推進協議会の会長が推薦する実務担当教師 ・各市町教育委員会の道徳教育担当者 ・広島県教育委員会関係者
広島県道徳教育研究協議会		6月15日 (水)	10:00～ 16:40	庄原市立 高野中学校区	・H14～H28指定校関係者 ・広島県教育委員会関係者及び各市町教育委員会の道徳教育担当指導主事等 ・その他道徳教育を推進する上で必要な者
第2回広島県道徳教育研究協議会 (全体報告会)		2月10日 (金)	9:30～ 16:40	県庁講堂 本館301, 601 602, R3 自治会館 101, 301	研究協議会及び推進連絡会議の参加対象者
道徳教育パワーアップフォーラム		8月10日 (水)	10:00～ 16:40	アステール プラザ	・県内公立小学校、中学校、高等学校、特別支援学校の道徳教育の推進を主に担当する教師 ・保護者 ・教育委員会関係者
高等学校道徳教育推進協議会		9月28日 (水)	9:30～ 16:45	県立教育センター	県内高等学校、特別支援学校 (高等部) の道徳を主に担当する教師
教科等別指導主事会議 (道徳部会)	第1回	7月14日 (木)	10:00～ 16:40	尾道市立 美木中学校	・広島県教育委員会関係者 ・各市町教育委員会の道徳教育担当者 ・指導教諭 (道徳)
	第2回	1月19日 (木)	10:00～ 16:40	自治会館 101	
道徳教育実践研究委員会 (小中学校部会)	第1回	5月25日 (水)	10:00～ 16:40	自治会館 301, 304	「道徳教育を推進していくために ～『特別の教科 道徳』の趣旨を踏まえた授業づくりについて～」
	第2回	6月28日 (火)	10:00～ 16:40	安芸高田市立 可愛小学校	「道徳科の特質を生かした計画的・発展的な指導の工夫」
	第3回	7月14日 (木)	10:00～ 16:40	尾道市立 美木中学校	「道徳的行為に関する体験的な学習等を取り入れる工夫」
	第4回	9月29日 (木)	10:00～ 16:40	廿日市市立 津田小学校	「生命を尊重する心を育む道徳教育」
	第5回	10月20日 (木)	10:00～ 16:40	東広島市立 志和中学校	「道徳の時間における問題解決的な学習の工夫」
	第6回	11月16日 (水)	10:00～ 16:40	三原市立 本郷小学校	「家庭や地域社会との連携による道徳教育」
	第7回	12月13日 (火)	10:00～ 16:40	竹原市立 忠海中学校	「道徳の時間における現代的な課題に関する指導の工夫」
	第8回	1月12日 (木)	10:00～ 16:40	広島県庁 自治会館101	「道徳教育の研究の振り返りとまとめ」
道徳教育実践研究委員会 (高等学校部会)	第1回	5月25日 (水)	10:00～ 16:40	自治会館 301, 304	「道徳教育を推進していくために ～『特別の教科 道徳』の趣旨を踏まえた授業づくりについて～」
	第2回	7月12日 (火)	10:00～ 16:40	千代田高等学校	・推進校における実践交流及び協議等
	第3回	12月13日 (火)	10:00～ 16:40	竹原市立 忠海中学校	「道徳の時間における現代的な課題に関する指導の工夫」
県小道		10月14日 (金)		三次市立 甲奴小学校	
県中道		11月18日 (金)		呉市立 呉中央中学校	

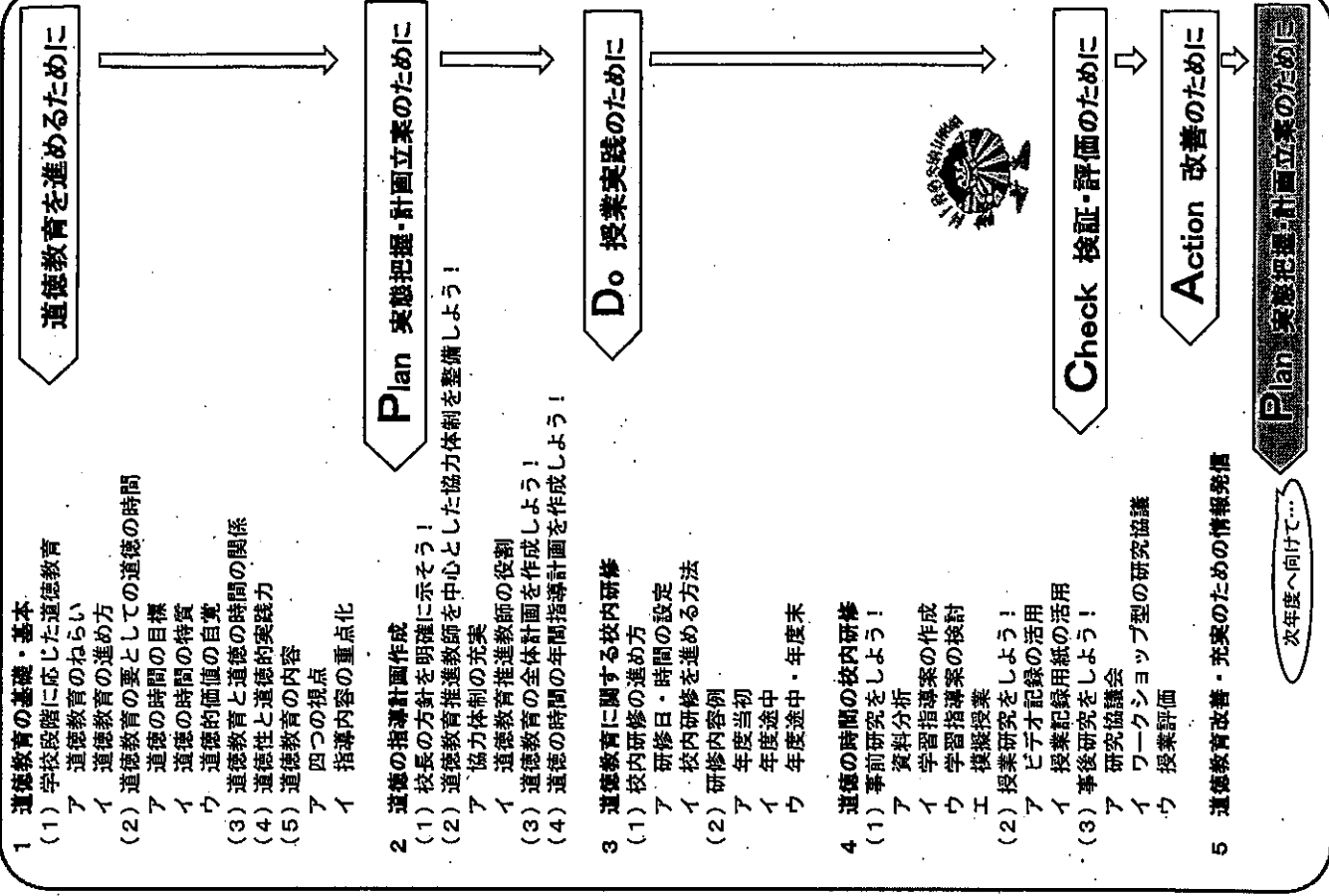
市町名() 校種(小学校 ・ 中学校)

次の1から9の質問について、当てはまる番号一つに○をつけてください。

番号	質問項目	そう思う	どちらかか いえばそう 思う	どちらかか いえばそう 思わない	そう思わ ない
1	今日の研修会は、自校の道德教育の推進に向けて参考になりましたか。	1	2	3	4
2	自校の道德教育に関する研修についてお聞きします。				
(1)	道德教育に関する研修は充実していると思いますか。	1	2	3	4
(2)	道德教育に関する研修を計画的に行っていますか。	1	2	3	4
(3)	道德教育に関する研修は、授業研究や理論研修など内容を工夫していますか。	1	2	3	4
3	自校の「道德の時間」についてお聞きします。				
(1)	「道德の時間」の内容は充実していると思いますか。	1	2	3	4
(2)	「特別の教科 道德」の趣旨を踏まえた多様な指導方法の工夫を取り入れていますか。	1	2	3	4
(3)	児童生徒が自分のことを振り返りながら考えるような指導の工夫をしていますか。	1	2	3	4
(4)	児童生徒が友達と話し合うなどして、自分の考えを深めたり、広げたりするような指導の工夫をしていますか。	1	2	3	4
(5)	児童生徒は、「道德の時間」で勉強したことを自分の生活にいかしていると思いますか。	1	2	3	4
4	自校では、道德教育の取組を通信やホームページなどで定期的に紹介していますか。	1	2	3	4
5	自校の道德教育推進教師(道德教育の推進を主に担当する教師)についてお聞きします。				
(1)	道德教育推進教師は機能していると思いますか。	1	2	3	4
(2)	教職員が協力し合う「道德の時間」の指導体制の充実を図っていますか。	1	2	3	4
(3)	道德の時間で用いている教材の準備や掲示物の充実など、環境を整えていますか。	1	2	3	4
(4)	他の教師の相談役や情報提供をするなど、道德教育の援助を行っていますか。	1	2	3	4

番号	質問項目	はい	いいえ
6	自校では、魅力的な教材の開発(地域教材を含め)に取り組んでいますか。	1	2
7	自校では、「広島県道德教育指導資料」(地域教材開発の手引、読み物教材例集、授業展開例集)を活用しましたか。	1	2
8	自校で取り組んでいる家庭・地域との連携についてお聞きします。(「今後、実施予定」も含む)		
(1)	「道德の時間」を保護者に公開している。	1	2
(2)	「道德の時間」を地域に公開している。	1	2
(3)	道德教育について保護者や地域の方々と懇談会をもっている。	1	2
(4)	保護者や地域の人々の参加・協力による道德授業を行っている。	1	2
(5)	地域の人材の協力を得て、魅力的な教材を開発している。	1	2
9	自校での、「私たちの道德」の活用についてお聞きします。(「今後、実施予定」も含む)		
(1)	道德教育の全体計画に位置付けている。	1	2
(2)	道德の時間の年間指導計画に位置付けている。	1	2
(3)	次の場面で活用している(「今後、活用予定」も含む)。		
①	各教科	1	2
②	道德の時間	1	2
③	外国語活動(小学校のみ)	1	2
④	総合的な学習の時間	1	2
⑤	特別活動	1	2
⑥	上記①～⑤以外の学校での生活場面や教育活動	1	2
⑦	家庭での生活	1	2
⑧	家庭や地域との連携	1	2
(4)	児童生徒による自主的な活用を促している。	1	2

道徳教育こそ、カリキュラムマネジメントを！



道徳教育改善・充実のための 道徳教育 研修ハンズブック

～カリキュラムマネジメントを取り入れた校内研修を目指して～



平成27年3月

広島県教育委員会

